

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

I	スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II	マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III	スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV	日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V	スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 埼玉県 】

学校名【 埼玉県立本庄特別支援学校 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者 (学年・人数)	対象学年：小学部4年生～6年生及び中学部1年生～3年生 人数：73名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 (ボッチャ講演・体験会) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	・パラリンピック種目であるボッチャに触れることで、パラリンピックへの興味や関心を高める。 ・実際のゲームを行うことでボッチャのルールを学ぶ。
5 取組内容	(1) 開催日 令和2年2月3日(月) (2) 講師 日本代表候補選手 佐藤駿選手 CAC Holdings (3) 会場 埼玉県立本庄特別支援学校 体育館 (4) 次第 佐藤選手及びCAC ① ボッチャの楽しみ方 ② 佐藤選手・CAC Holdingsによるボッチャ講演会 ③ ボッチャ体験会 ④ お礼の言葉・感想発表 ⑤ 記念品贈呈 ⑥ 写真撮影 ・事前学習では、ボッチャのルールを簡易化し、ボッチャに触れる活動を行った。事後学習では学部毎に授業を行った。ボッチャセットが校内に3セットしかないため、学部毎に調整し、多くの児童生徒が参加できるように取り組んだ。

	
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> この事業を通してボッチャというスポーツを知ることができた。また、実際のルールを学び、体験することでボッチャを積極的に行う児童生徒が多く見られた。 アンケートにおいてもパラリンピックへの意識が高まった生徒が多く見られた。 集合写真や個別の写真を撮影したことで、ボッチャを身近に感じることができ、パラリンピックへの興味や関心も高まった。
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 講演会だけではなく体験会を行ったが、各コート1名ずつ講師が入り、ルールやテクニックの指導をしていただいた。 撮影する時間をあらかじめ確保していたため、日本代表候補選手との距離も縮まり、ボッチャを身近に感じることができた。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日本代表候補選手ということで、多くの大会や合宿がある。控えている大会や合宿等を把握し、実施できる期間を早めに把握すると日程を調整しやすい。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学校の授業で行うだけではなく、地域や学校間の行事の中で深い交流を深める。 ボッチャだけではなく、様々なパラスポーツに触れる。(ブラインドサッカー、シッティングバレーボール等) 廊下等の掲示を利用し、東京オリンピック・パラリンピックへの興味や関心を深めていく。